

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第2回「第3期松阪市地域福祉計画策定委員会」
2. 開 催 日 時	平成29年9月28日（木） 午後1時30分から午後3時06分
3. 開 催 場 所	松阪市殿町1340番地1 松阪市役所 5階正庁
4. 出席者氏名	委員 委員長 永田 祐、副委員長 中山 一男、垣本 長生、 三井 征一、脇田 博之、伊藤 文吾、山本 均、田中 鈴兒、 山本 勝之、松本 守、伊藤 覚、世古 佳清、深川 誠子、 野呂 純一、奥井 昇、大戸 房子、中村 菊美、高瀬 良弘、 岡田 晴夫、青木 道夫 事務局 鈴木 茂郎、上西 伸幸、小城 亜紀、高木 達彦 奥田 一男、山口 美帆子
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	報道機関 1人、一般傍聴 2人
7. 担 当	松阪市 健康福祉部 地域福祉課 TFL 0598-53-4089 FAX 0598-26-9113 e-mail fuk.div@city.matsusaka.mie.jp

### 協議事項

- (1) 計画の基本理念・目標について
- (2) 計画の期間について
- (3) その他

### 議事録

別紙のとおり

## 第2回「第3期松阪市地域福祉計画策定委員会」議事録

日 時：平成29年9月28日（木）

午後1時30分～午後3時06分

場 所：松阪市役所 5階正庁

### 1. 計画の基本理念・目標について

(1) 住民協議会と自治会組織の考え方について説明（松阪市地域づくり連携課 高木課長）

2つの組織の経過を熟知している策定委員会委員より補足説明

(2) 資料「第三次計画の基本理念と目標」を中心に資料の説明（永田委員長）

資料の裏面【第三次松阪市地域福祉計画の基本理念】について議論を行う。

委員発言 「包括的・総合的な相談支援体制の確立について」もう少し詳しい説明がほしい。

回 答 行政にありがちな縦割りではなく、複合的な相談に総合的に回答できる窓口を作ることが目的となる。

委員発言 包括地域支援センターは65歳以上の方に対する相談が担当となる。地区福祉会のような組織もある。考えている窓口の位置付け等はどう考えているのか。

回 答 専門職が在籍している各専門機関を繋ぐコーディネートを行うのが目的。次回の会議で何らかの青写真が描ければ提示したい。

委員発言 いろいろな専門機関があるが、我々一般住民にはどの機関がどのような役割を持っているのか解りにくい。相談に来た一般住民が解りやすい交通整理をする部署が必要なのでは。

回 答 次回以降の会議で可能であれば解りやすい資料を提示する。

委員発言 資料のなかに「我が事・丸ごと」という表現が多く使われているが、どういう意味か。

回 答 最初国では難しい言葉で表現していたが、皆さんにとって解りやすい言葉とは何かということで考えられた言葉で、我が事とは地域の課題を我が事ととらえて地域で解決すること。丸ごととは、専門職が地域の課題をつかむ中で、住民の皆様とともに解決していくこと。

委員発言 個々の問題について、いろいろと相談の窓口があるが集結して相談する場所がないように思う。

回 答 今回、計画の中に盛り込もうとしているのが、それに対する検討である。

委員発言 事務局から提示された基本理念について、検討を行う必要があるのでは。

回 答 各委員から個々の言葉、表現について意見があり、決定は行われなかったが、第3案を中心に今後検討していく。

委員発言 計画の中にどの部分でもよいが、「松阪に住んでよかった」「連携」等の表現を盛り込んでほしい。

回 答 今後、皆さんで検討していく。

委員発言 地域で説明できる、簡単な資料の作成もお願いしたい。

回 答 過去の計画でも作成したが、今回もポイント部分を抜粋した概要版の作成を予定している。

## 2. 計画の期間について

平成30年度から平成34年度の5年間を予定している。

特に各委員から意見なし。

## 3. その他

次回日程は後日、連絡することとする。